

韓国・朝鮮語は好きなジャンルの自由テーマで応募者を募集しました。全体的にはどのスピーチも素晴らしく、韓国・朝鮮語をツールとして適切に運用している姿がとても素敵でした。スピーチの内容には、韓国人のジェンダー意識や、弱者を配慮するために作られた韓国の社会制度など、様々なトピックがあり、段落構成も良く、すべての発表者が表彰に値すると思いました。

スコアの違いはスピーチ音声をどれほど適切に運用しているのかでした。「聞き取りやすさ」、「リズムの調節」、「語調」など、パラ言語の要素に重点を置いて審査しました。特に、上位の3名はこれらのパラ言語の要素においても高い評価をもらいました。

今回のコンテストに向けて発表者全員が一生懸命取り組んできたと思います。何度も音読をしたり、暗記をしたりと、たくさんの練習を重ねてコンテストに参加したと思います。これは新しいスタートでもあります。コンテストで培った力を今後の韓国・朝鮮語学習につなげて行ってほしいです。

(朴 瑞庚)